上尾市議会議員〈政策フォーラム・市民の声あげお〉

えびはら直矢市政報告

2021年 特別号2

発行人 海老原直矢
〒362-0026 上尾市原市北一丁目14番地9 TEL. 048-716-7323
E-mail. ebihara116@gmail.com https://www.ebihara-naoya.com/

令和3年度一般会計予算が成立
実現に至らなかった会派要望についても回答

上尾市でもワクチン接種事業がスタートし、ようやく新型コロナウイルス感染症対策が次のステップへと進むことになりました。

ただ、予約受付において混乱が生じたり、かかりつけ医がいないことで地域で接種ができない方が生まれるなど、新たな問題も生まれています。

ご不安なことがありましたら、いつでもご連絡をお願いします。また、社会状況の変化による困難を抱えている方もいらっしゃることと存じます。

皆さんの困難や不安に寄り添っていけるよう、努力してまいりますので、引き続きのご指導をお願いします。

動画での市政報告をご覧ください

新型コロナウイルス感染症の影響で、皆さまにお会いすることが難しいなかで市政課題についてご説明するため、動画での市政報告を作成しています。

〈パソコンの場合〉
検索ボックスに「https://youtu.be/AmfjZwupzIU」と入力し、検索結果で出た動画をご覧ください。

〈スマートフォンの場合〉
パソコンと同様もしくは右のQRコードをカメラアプリで読み込んでください。

『政策フォーラム・市民の声あげお』予算要望に対し回答

昨年8月に会派『政策フォーラム・市民の声あげお』として行った令和3年度予算編成に対する要望に対して、執行部から回答がありました。

今回の要望書では、①市政改革、②子ども・子育て、③教育、④福祉・医療、⑤産業・雇用・労働、⑥まちづくり、⑦災害対策・救急の7つのテーマ、106項目について要望を行いましたが、実現に至ったものは7項目（①子ども家庭総合支援拠点の設置、②東町小学校のプレハブ校舎の解消、③介護サービスの充実、④成年後見センターの設置、⑤中小企業コーディネーターの活用による雇用対策、⑥上尾駅への高崎線通勤快速列車の停車、⑦同性パートナーシップ制度の創設）、「検討する」「研究する」などの回答があったものは26項目でした。

「市民の声あげお」として市民とともに制作した『市民と議員の共同政策』の内容についても要望の項目に加えましたが、そのなかでも一定の回答があったものもあります。特にそれらについては、質問などの場で早期の実現を求めていきます。

『市民と議員の共同政策』から予算要望に加えた項目に対する主な回答

要望	放課後子ども教室の全小学校への設置
回答	現在行っている事業を検証しながら、今後の事業展開について検討していく。

要望	全校での学童保育所の学校敷地への設置
回答	学校教育に支障がない範囲での転用可能教室および学校敷地などの活用を関連部署と協議し、検討していく。

要望	情報入手困難な世帯への防災ラジオの配布
回答	現時点では防災ラジオの配布は予定していないが、情報入手困難な世帯への対応は引き続き検討していく。

要望	デマンドバスの導入
回答	効率的なバス路線網の確立に向けて取り組みながら、導入の可能性などについて引き続き調査・研究していく。

皆さまのご意見を聞かせてください
メール ebihara116@gmail.com　フェイスブック https://www.facebook.com/naoya.ebihara

一般質問の主な質問と答弁

今回の一般質問では、①子ども・子育て支援（子どもの貧困対策、有機学校給食）、②多様性推進施策（性的マイノリティ支援、課題当事者の審議会委員への任命）、③自然環境・生活環境（地域猫活動、原市沼調節池の活用、希少動植物保護）、④民間との連携（イオンモール上尾への期日前投票所の設置）の４項目について質問をしました。

今回の質問ではこれまでの提案について確認をするものがあったこともあり、一定の答弁が得られました。消極的な答弁であったものについても、引き続きその必要性を訴えていきたいと思います。

困難を抱える子育て世帯の支援

入学準備金・奨学金貸付制度の周知強化を

質問

市の入学準備金・奨学金貸付制度について、高校合格後に情報収集を行ったために申請期日を過ぎてしまい、申請が間に合わなかったとの相談を複数受けた。
制度の趣旨から考えれば広く周知を図り申請漏れのないようにすることが必要であり、学校での周知などを行うべきであると考えるがどうか。

答弁

教育委員会が実施する同制度については、広報あげお、ホームページ、窓口でのパンフレット配置でお知らせをし、上尾市以外の県や国などで実施している奨学金などについてのホームページで案内している。
支援が漏れることを防ぐべき方策としては、市内中学校への周知などを今後検討していきたい。

ダブルケアの支援

福祉総合相談窓口での周知が必要

質問

子育てと介護など、複数の世代のケアに同時にあたる「ダブルケア」を行う方の支援のため、検討されている福祉総合相談窓口が設置される際に、具体的な事例の一つとしてダブルケアのケースを周知し、相談を促すことが必要であると考えるが見解は。

答弁

福祉総合相談窓口は、福祉制度の狭間や複合的な課題を抱えた相談を、まずは「受け止める」場所として想定しており、窓口設置の際には、育児と介護に同時に取り組むダブルケアなどについても、周知を図るケースとして検討していく。

飼主のいない猫の避妊・去勢手術事業

捕獲器を他の用途で使用をしないよう周知が必要

質問

地域猫活動を行うから、市が貸し出した捕獲器で管理している猫が捕獲され、業者に引き渡されてしまったとの通報があった。
まず、動物愛護法の改正により、所有者の判明しない犬または猫について保健所が引き取りを拒否できるようになったことや罰則が強化されたりしたことについて市としても周知が必要であると考えるが見解は。

答弁

本市においても動物愛護法の改正について広報やホームページの掲載により周知を図りたい。

質問

飼主のいない猫の避妊・去勢手術支援事業における捕獲器の貸し出しは、事業の性質業別の用途に使われても市が事実確認を行うことが困難であることを踏まえ、貸し出しの際に、他の用途での使用について、厳しく伝えることが必要であると考えるが見解は。

答弁

申請には、飼主のいない猫の現地確認をしてから貸し出しており、指摘を踏まえて今後はこれまで以上に貸し出しの際は、他の用途での使用をしないよう周知したい。

マイノリティ支援

子どもへの相談窓口の周知を

質問

12月定例会の一般質問について外国人や性的少数者などマイノリティの児童生徒への相談窓口の周知について、「児童生徒が、掲示等により相談窓口を知ることができるようにすることは大切である」との答弁があったが、その後の検討状況は。

答弁

教育委員会では、令和3年度当初に、外国人児童生徒や性的マイノリティ等の多様なニーズに応じた相談機関の案内掲示を学校に送付するとともに、児童生徒にも配布する予定である。

期日前投票所

イオンモール上尾への増設を

質問

今回イオンモール上尾開業に伴うイオン株式会社との地域活性化包括連携協定に期日前投票所の設置は含まれなかった。
平成31年の参議院選挙では全国で100か所以上のイオンの商業施設に投票所が設置され、県内においても設置が進んでいることから、他自治体の事例を調査し、設置についての検討を進めるべきであると考えるが見解は。

答弁

期日前投票所設置に関する他自治体の取り組み事例については、上尾市よりも人口の多い自治体で商業施設などに期日前投票所を解説している4自治体には、期日前投票所事務従事者数について調査をしている。
イオンモール上尾を含めた大型商業施設などに期日前投票所の増設を検討するため、さらに詳細な調査をしていく。

えびはら直矢プロフィール

昭和 62 年 12 月 3 日生まれ。
●上智大学法学部卒
●首都大学東京社会人類学教室修了。
国連 UNHCR 協会職員などを経て、
衆議院議員公設第一秘書を務める。

大学在学中に市民団体を設立し、現在子どもたちの放課後を考える団体や演劇教育を推進する団体など複数の団体の運営に携わってきた。
2017 年に上尾市議会議員に初当選（現在 2 期目）。
家族：妻、長男（5 才）、長女（4 才）、次男（2 才）

この市政報告は政務活動費で作成しています。